

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分
 【発行日】平成27年12月17日 (2015.12.17)

【公開番号】特開2014-223692(P2014-223692A)
 【公開日】平成26年12月4日 (2014.12.4)
 【年通号数】公開・登録公報2014-066
 【出願番号】特願2013-103719(P2013-103719)
 【国際特許分類】

B 2 4 B 37/32 (2012.01)

H 0 1 L 21/304 (2006.01)

【 F I 】

B 2 4 B 37/04 P

H 0 1 L 21/304 6 2 2 G

【手続補正書】
 【提出日】平成27年10月30日 (2015.10.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ワークを研磨するため研磨布と、研磨剤を供給するための研磨剤供給機構と、ワークを保持するための研磨ヘッドを具備し、該研磨ヘッドは前記ワークの裏面をバックングパッドによって保持し、前記ワークのエッジ部を環状のテンプレートによって保持し、前記研磨布に前記ワークと前記テンプレートを押圧することで、前記ワークを前記研磨布に摺接させ、前記ワークを研磨するワークの研磨装置であって、

前記テンプレートは、フィラーが添加された樹脂又は織布が含まれた樹脂から成り、前記研磨布を押圧する面に前記フィラー又は前記織布が露出していることにより、該押圧する面に微細な凹部を有するものであり、前記テンプレートの前記研磨布を押圧する面における前記露出しているフィラーの表面占有率、または織布の表面占有率が 5 % 以上 8 5 % 以下であることを特徴とするワークの研磨装置。

【請求項 2】

前記凹部の深さが 0 . 0 5 m m 以上であることを特徴とする請求項 1 に記載のワークの研磨装置。

【請求項 3】

前記凹部の開口幅が 5 m m 以下で、凹部間のピッチが 1 0 m m 以下であることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載のワークの研磨装置。

【請求項 4】

前記凹部と前記研磨布との接触角が 9 0 ° 以下であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項に記載のワークの研磨装置。